新ルール適用について

2023/5/28 普及会審判委員会

普及会では 6 月実施大会より新ルールを適用することになりました。その中で最低限知っておいていただきたいものを以下に簡単に説明しますので、チーム関係者の皆さんに周知願います。

① 最初に攻めるゴールの方向が変わります。

新ルールでは攻める方向が前後半逆となり、前半に自チームベンチ前のゴールに攻めることになりました。これに伴い、試合前のアップも自チームベンチ前のコートで行います。

② 正確な残り時間を表示してプレーを続けます。

各 Q の終了の合図とほぼ同時にシュートファウルが起こった時、ファウルが先と判断した場合、以前はフリースローだけ行って時限を終了させていましたが、新ルールでは審判が 0.1 秒以上残り時間を決定し、タイマー表示してプレーを続けることになりました。

プレイヤーはベンチに下がらず、コート上にいてください。

③ スローインファウルという名前に変わります。

第４Q の残り 2 分を切ってからの場面で、スローインするプレイヤーの手からボールが離れる前にコート内でディフェンスファウルが起こった場合、これまではアンスポーツマンライクファウルとされていましたが、スローインファウルという名前に変更になり（ただし、普通にアンスポが起こった場合は、そのままアンスポとなります)、罰則は 2 ショット＋スローインから、1 ショット＋スローインに変わります。ゲームはファウルが起きた場所に最も近いところからファウルをされたチームのスローインで再開します。

（注意点）

・すでにチームファウルとなっていた場合でも 2 ショットにならず、1 ショット＋スローインが適用されます。

・再開時のショットクロックは、通常のファウルと同じ扱いになります。なので、フリースローだからといってショットクロックを消さないように注意してください。

④ 新しいファウルのジェスチャーが加わります。

『イリーガルシリンダー』と言い、前にならえの状態で手を上下に動かし、シリンダーをイメージした動きをするジェスチャーとなります。

このファウルは、主に止まってピボットをするオフェンスの軸足をまたいでディフェンスするような場面で起こるファウルをイメージしてください。

以上は、普及会で最低限必要なルール変更のみ説明しています。ほかにも細かい変更点がありますので、JBA のホームページなどでご確認ください。